

THE PRINCIPAL REPORT

TK通信



2月号

FEBRUARY 2023 / VOL. 007

対話の原則

〈信頼、双方向型コミュニケーション、自己修正〉

あっという間の1月が過ぎ、今年度も残すところあと2ヶ月。来年度に向けた準備が既に始まっています。毎日のように多くの方々との打ち合わせをしています。生徒、先生、卒業生、企業の方々などさまざま。そんな中で感じる「対話」の大切さについて、今回お話しします。

組織が何か目標を達成しようとするときに、必ず必要となるのは対話です。「対話って情報を伝達したり、おしゃべりすることでしょ？簡単じゃん！」と思うかもしれませんが、それは間違っていないかもしれませんが、簡単ではないんですよ。人と人が思いやアイデアを共有しようとするとき、どうしても一方通行で伝えようとしまいがち。伝えた本人は満足かもしれませんが、一方的に伝えられた側はモヤモヤします。「こっちの話なんて何も聞いてくれなかったじゃん・・・。」とね。

こうしたケースは学校の中でもよく見ます。先生から注意されたり、忠告されるシーンで、生徒がそれを素直に受け入れられないとか、あるあるじゃないですか。生徒は納得感のないまま黙って聞か、ふてくされて知らんぷりしてしまう。そこで態度が悪いと「あの生徒は指導に従わない！」ということになってしまう。あるあるですね。

ここで問題となっているのは「対話」ができていないことです。先生側からするとしっかり伝えている、注意しているということになるんですが、対話のベースがない状態でのやり取りになっています。対話のベースとは「信頼」「双方向型コミュニケーション」「自己修正」の3つです。信頼関係がまずはあること、作ろうとしていることが大前提です。また、一方通行のやり取りではなく、双方向で考えを伝え合う、聞き合うということが大事。そして、最も大切なのは自己修正です。相手の意見を受け入れ、自分の考えや行いを冷静に振り返り、より良い考えやアイデアを共に創り出すという姿勢が必要となります。これが対話です。自分のやっていることは対話になっていますか。

文字に表すと簡単なようですが、対話は難しいんです。人は感情の生き物ですから。感情やらメンツやら立場やらが純粋な対話を邪魔してしまいます。相手に負けたくない、舐められたくない、抑えられたくないという思いが、相手に対する心の壁を作り上げ、相手を論破したり、言い負かしたりしようとしします。一番やっちゃいけないです、論破は。相手の思いや意見をまずはありのままに受け入れる（承認）することがスタートです。心をオープンにし、安らかな状態を保ち、相手の意見を受け入れられる自分でありたいですね。こうした対話ができれば、組織は「掛け算」ができるようになり、共創型対話に溢れる空間ができていきます。そんな学校にしましょう。まずは職員室からということで、リニューアルをしています。とても良い感じです。生徒のみんなも是非使ってくださいね。



読書のすゝめ

『トビタテ！世界へ～「世界」と「日本」、そして「自分」を再発見する留学のすべて～』（船橋力）をご紹介しますと思います。皆さんは「トビタテ！留学JAPAN」を知っていますか？海外留学を志す日本の高校生や大学生をサポートするために、文部科学省初の官民協働留学創出プロジェクトです。2014年から始まったこの国家プロジェクトですが、これまで多くの生徒を海外に送り出しています。そういった生徒たちに共通しているのは、海外での学びを通して何をどうしたいのかという点で非常に強力なビジョンを持っているということ。とはいえ、同じ高校生です。決して特別な力を持っている生徒たちではなく、本校の生徒と何ら変わりはありません。ただ、彼らは非常に強いモチベーションによって駆り立てられており、留学のその先を見据える力強い思いがあるのは間違いありません。そんな同世代の彼らのリアルな姿を知ってほしいと思います。



3年 進路キャリアプレゼン

1月下旬、家庭学習期間に入る前に、進路決定者による進路キャリアプレゼンテーションが開催されました。卒業後のそれぞれの進路選択先で、目標や動機をより明確にしていくことにより、主体的な学生生活、キャリア一歩目をスタートすることができると期待しています。

プレゼンを担当した生徒たちは、将来への目標やビジョンを力強く語ってくれました。卒業してしまえば、自分達を制約するものはほぼありません。言い換えれば、守ってくれるものもありません。何をするのも自分次第。何もしないことすらできる。これからの未来を自分らしく生きていくためにも、目的意識を高く持ち、努力し続けられる大人になってほしいと思います。



令和5年度 入学試験

今年もやってまいりました、入学試験。今年の入試の1番の特徴は志願者数が一気に増えたことです。具体的には昨年度より100人以上増えました。これは本校での学びの魅力、生徒たちの日々の努力、多くのフィールドでの活躍が、中学生の皆さんに伝わってきているのだと思います。また、今年からマークシートを導入し、問題スタイルも大学入学共通テストの出題傾向を意識した内容にしています。入試もアップデートですね。

合格発表は2月10日です。たくさんの生徒が来年度入学することを心から楽しみにしております！4月が今から待ち遠しいですね！



保護者の皆様へ

いつも本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。3年生が家庭学習期間に入り、少し寂しく感じております。あっという間に2月も過ぎ去り、卒業式を迎えることとなります。新しい門出を祝う日ですが、一年で最も寂しい瞬間でもあります。素晴らしい式となりますことを心よりお祈り申し上げます。

1、2年生は3月2日から学年末試験となります。進級を決める非常に重要な試験となります。1年間の振り返りをしっかりと行い、これまでの学びをしっかりと定着させましょう。自分の卒業後のキャリア、卒業後10年後の姿を考えるタイミングでもあります。時間を有効に、自分と向き合い、自己理解を深めてもらいたいと思います。

